



バスケットボール (女子) NO.4

茨城国体2019

試合日	2019年10月4日(金)
開始時間	09:44
会場	リリーアリーナHD

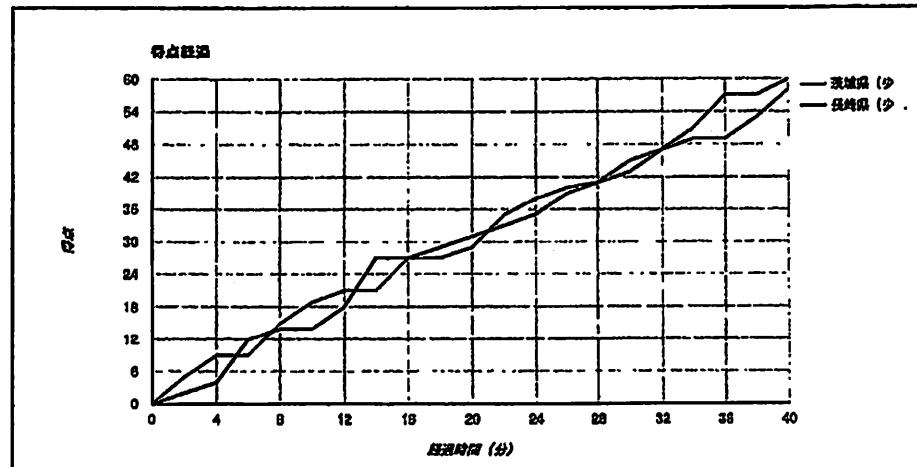
沈祖堯《少年女子》	58	19 - 14 19 - 17 15 - 12 13 - 17	60	黃曉楓《少年女子》
-----------	-----------	--	-----------	-----------

族域界（少年女子）

No.	選手名	GU	PTR	3P	2P	DR	FT	ORB	DRB	STL	BLK	TO	PF	TR	FG	SPL	DP	MOM
4	今井田優実	●	9	0-0	0-0	3-10	10-10	0-3	6-13	1-3	4-1	1-1	0-0	3-0	0-0	0-0	0-0	33.44
5	鶴見 順実	●	13	0-0	0-0	2-12	7-10	0-16	20-5	3-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	38.35
6	佐藤 真歩	●	0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	DNP
7	久野 智枝	●	2	0-0	0-0	3-3	20-10	0-2	0-3	2-5	3-3	0-0	1-1	1-0	0-0	0-0	0-0	39.61
8	佐藤本 順	●	0	0-0	0-0	4-4	4-4	0-0	0-0	0-2	2-0	0-1	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	21.92
9	花村 あこ	●	0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	1-1	0-0	0-0	1-2	0-0	0-0	0-0	0-0	4.00
10	美咲 由生	●	6	3-3	3-3	3-6	15-0	1-1	5-2	6-6	4-4	1-1	0-0	5-0	0-0	0-0	0-0	31.02
11	橋本 実理	●	0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	DNP
12	山口 美実	●	0	0-1	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	1-1	0-0	0-0	0-0	1-0	0-0	0-0	0-0	4.74
13	寺原 芭穂	●	13	0-1	0-0	5-7	71-0	0-0	0-2	2-4	0-0	0-1	3-2	0-0	0-0	0-0	0-0	17.59
14	佐々木 遼樹	●	0	0-1	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	1-1	0-0	0-1	0-1	0-0	0-0	0-0	0-0	8.28
15	木村 亮	●	4	0-0	0-0	2-4	33-0	0-0	0-3	6-9	2-0	2-2	3-3	0-0	0-0	0-0	0-0	18.45
Team/Coaches		0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-1	2-2	1-1	0-0	0-2	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	CSP
TOTALS		52	3-18	5	25-58	43	0-515	33	17-23	25	46	11	3	5-15	13	0-0	0-0	299.53

長崎県（少年女子）

北　原　道：PAS-12E会員登録、M.成績表、A1-KRR、S.成績表、2D.2Dインシケーター、3D.3Dインシケーター、DK.ダンク、FT.フリースロー、NO.ノーバウル、クワード FO.オランダスリーパンフ、DR.ディフュンスリーパンフ、TUT.ツートン、AS.アシスト、SL.スタイル、BL.ブロカショット、TO:ターンオーバー、FW.パーソナルファウル、クリア/アス.：ファウル、アエイ・フム.：ザ・ブレイ・ファウル、フレグランツファウル、パンチングファウルの合計 TF:テクニカル・ファウル FO:ファウルオランダスリーパンフ



10

11歲11歲英姑妹約兩年20012002年女子1回職 英姑得15年禁錮

いきいき放送の関西FMが主ナビゲーター。放送はMBS放送局。
第10回。ディフェンスは両チームともにハーフコートマンツーマン。<#4のジャンプシュートで長崎県が先制するも、茨城県はすぐさま#10が3Pを決め返すと#5の2連続得点などで開始3分で9-2とリード。攻守に流れが替わるが茨城県はタイムアウトを請求し、タイムアウト明けからディフェンスをオールコートマンツーマンに変更。すると、プレッシャーを増した茨城県のディフェンスの前に茨城県ガード陣のクーンオーバーを説得。オフェンスでは#7がゴール下で高さを活かし得点し、長崎県が一気に逆転。長崎県のプレッシャーでディフェンスに苦しむ茨城県もオフェンスリバウンドからなり独り得点すると、再び流れを引き戻してリードを奪い返し、19-14と茨城県が5点をリードし、1回戦勝利。

第20、ディフェンスからリズムを作りたい長崎県はオールコートマンツーマンで積極的にプレッシャーを掛け、ボールを奪えば早く攻めに転じるトランジションゲームを展開すると、第1Qにはほとんどなかったドライブインからの得点も生まれるなどしてリードを得る。長崎県ディフェンスの前になかなか得点できなかつた茨城県だが、#5がインサイドで躍起。しぶとく得点しハイドントを喰らうも29-31と長崎県2点リードで前半終了。

第3Q、茨城県はインサイドでの1対1や長崎県ディフェンスを強い渡ったガード陣の積極的なペネトレイトから得点してリードを奪う。それでプレッシャーを極めに貼り強いディフェンスを見せる長崎県は#7のゴールドシートなどで得点するなど互いに隙なしで45-43と茨城県2点リードで前半終了。

45-45と決戦を争ったアントラーズは、試合序盤から後半まで攻撃力のあるディフェンスからゲームを作った長崎県が2回戻りを演出した。

文責：鈴木 勝史

吉野	中川角美子	脚本	廣野俊明
田嶋	林大貴	監修	佐々木義人
スコアラー	水戸道三高校	サブスコア担当者	高橋和也